

9月議会2012年度沼田市決算審査報告

補助金カットつづき財政は健全化すすむ

沼田市政は、1996年に「沼田市行政改革大綱」を策定して以来、行政改革に取り組んできました。「国の行革」である地方交付税削減をまぬがれようと、10年間の特例がある「平成の合併」を旧白沢村および旧利根村と2005年度に実施して、地方交付税の削減はかろうじてさけられましたが、人口の削減、経済の衰退はさけられず、有効な手だても打てずに収入が落ち込み、18%以上ならば地方債（借金）を発行するとき県との協議が必要という条件を設定し2006年度から導入された「実質公債費比率」が、06年度20%、07年度19.4%、08年度19.6%と3年間つづき、「協議団体」に落ちてしまいました。

この状況を脱却しようと、人員の削減、職員の給与引き下げ、市内団体等に対する補助金の一律カット、各種保険料の値上げなど、歳出削減と市民負担増が強行されてきましたが、このような職員や市民を犠牲にする「行革」によって「財政の健全化」が進んでいます。

ムダな開発やめ、地域産業を活性化させて健全化を

日本共産党は、「街なかの区画整理事業」など、ムダな開発事業はやめて、地場産業・地域産業を活性化させ自主財源を増やし、財政健全化をめざすよう主張しています。



井之川博幸市議

振興局制度廃止に向け検討進む

2005年度の合併から7年が経過しました。当初に10年間は、白沢・利根はそれぞれ振興局制度を実施することになっており、10年後も継続するかの検討が行なわれていますが、振興局を廃止し、「支所」を設置するという案が浮上しています。

振興局は、白沢町・利根町地域で行なっている市事業の予算化と予算執行を担っていますが、支所になればそれはなくなり、住民のみなさんの届出の受付や書類の発行などの作業にとどまると考えられます。

日本共産党は、「関係住民はじめ市民の意見をもっと聞くべきだ」と主張しています。白沢町・利根町の住民のみなさんが、どのような意志を表わし、行動するかによって今後の方向が決定されると思われま

共産党 林氏が元職を大差で破り当選

みなかみ町議補選・共産党2議席になり議案提出権を得る



支持者らと万歳する林氏(中央)

10月20日投票で行なわれた、みなかみ町議補選で、日本共産党公認の林のぶゆき候補は保守系の元町議候補との一騎打ちになりましたが、2,609票を獲得し、元職候補に1,000票近い大差をつけて当選しました。これによ

り、同町議会で共産党は2議席になり、議案提出権を得ました。

林氏は、国民健康保険税を5億3,000万円の基金を活用し、1世帯2万円の引き下げや、沼田市の約6倍もするゴミ袋の値下げをすすめること公約。「共産党が議案提出権を得れば、住民の願いを議案として提出できるようになり、願いの実現の道が大きく広がります」と訴えて、支持をひろげました。

市民大運動会や高橋場町文化祭を開催!



市民大運動会 選手宣誓



第12回高橋場町「町民文化祭」の作品展示場

秋の大感謝祭! オータムフェスタ開催!!

「秋の大感謝祭」ぬまた市産業展示即売会と「大商業祭」「ぬまた揚げ上げフェスタ」が共同する「オータムフェスタ」が10月12日から沼田公園で開催され、多くの市民などが来場しました。



多くの来場者で賑わうオータムフェスタ

2013年10月27日 No.677

いのさんニュース

発行所沼田市下久屋町983 ☎23-1519

井之川博幸議員活動地域版 部内資料